

「秋名小学校の八月踊り伝承活動の取組」

1 学校名

龍郷町立秋名小学校

2 学年・人数 全学年（計21人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時（場所）：令和元年9月18日（水）本校体育館

(2) 発表の日時（場所）：令和元年9月29日（日）本校校庭

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事について

(1) 名称：八月踊り（はちがつおどり）

(2) 由来

起源は定かではないが、按司の世（約700年前）からあったのではないかとされている。豊かな実りに感謝し、来年の豊作を願う「祝付け」の踊りである。

(3) 構成等

男衆と女衆のそれぞれの「唄出し」と「太鼓（チヂン）」から輪を描く。太鼓（チヂン）を叩くのは、ほとんどが女衆。そのリズムに乗り、男女が島唄を交互に唄いながら八月踊りを踊る。そして、八月踊りの最後は、六調（ろくちょう）で締めくくる。

5 保存会や地域との連携の具体

運動会で発表の場を設定し、秋名っ子タイム（総合的な学習の時間）で練習を行っている。秋名・幾里、嘉渡が輪番制で担当し、老人会を中心とした集落の方々の指導の下、島唄と八月踊りを伝承している。運動会では、生徒・職員・保護者・地域の方々が、みんなで輪になって唄い、踊っている。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

学校と地域が協働して八月踊りを伝承していくために、学校（担当）と地域（老人会長）の連絡を密に行っている。また、学校で八月踊りを発表（運動会）するだけでなく、地域で行われる「種下ろし」にも、積極的に参加している。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



【秋名っ子タイムの練習】



【種下ろしの様子】

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

僕は、みんなで円を作って踊る八月踊りが大好きです。大人も子どももいっしょに踊るので楽しくなります。島唄も、覚えました。太鼓もたたけるようになりたいです。

(児童)

八月踊りの練習が充実してきました。日常でも、子供たちが八月踊りの唄を歌いながら道を歩いている姿が見られます。とてもうれしいです。(保護者)

地域でも、練習回数を増やしていきました。ほとんどの子供たちが参加して、踊りや歌が上手になっています。ぜひ、みんなで八月踊りを守っていきましょう。(地域の方)

「学校で学び 家庭で育ち 地域で伸びる 秋名っ子」 地域の皆さまあつての活動だと感謝しています。(職員)